

デジタル田園都市国家構想交付金を活用して実施した事業の実績及び効果について

1 趣旨

国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用して、令和 6 年度に本市が実施した事業の実績及び効果について報告するものである。

2 交付金の概要

内閣府が交付する地方創生交付金であり、デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、地方への新たなひとの流れを創出する取組や地方創生に資する拠点施設の整備等の各地方公共団体の意欲的な取組を支援するもの。

3 実施状況の公表及び効果の検証

国の事務連絡等において、次のとおり示されている。

- (1) 外部有識者を含む検証機関を設置し、K P I の達成度について効果検証を行うことが必要である。
- (2) 効果検証の結果については、その後の地方版総合戦略の改定の検討に反映される必要があり、必ず地方公共団体のウェブサイトにおいて公表する必要がある。

4 実施状況

交付金区分	No.	事業の名称	R6事業費 (円)	R6交付額 (円)
地方創生推進タイプ (補助率1/2)	1	東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト	4,904,876	2,452,438
	2	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業	15,369,251	7,684,625
	3	盛岡スタートアップ成長加速支援事業	5,887,959	2,943,979
地方創生拠点整備タイプ (補助率1/2)	4	将来に向けて盛岡・玉山の「農業」と「ひと」を紡ぐ拠点・（仮称）道の駅もりおか整備事業	385,251,131	191,159,700
デジタル実装タイプ TYPE1 (補助率1/2)	5	行政手続きオンライン化・デジタル化事業	2,780,924	1,390,000
	6	デジタル技術を活用した学校教育の情報化	19,058,292	9,529,146
地方創生整備推進交付金 (補助率1/2)	7	盛岡の農業・物流を支える交通ネットワーク構築計画	46,658,000 ※	23,329,000 ※
合計			479,910,433	238,488,888

※令和 7 年度へ全額繰越

5 検証結果

各事業の検証結果は別紙のとおり。

6 総括

令和6年度は、地域の魅力発信、起業支援、道の駅「たみっと」の整備、行政手続きや学校教育のデジタル化など、多岐にわたる事業を展開した。

各事業の効果検証においては、事業実施時期の遅れや未達成のK P Iがあるものの、地域課題の解決に向けて着実に取組を進めることができたものと捉えている。

令和7年度からは「新しい地方経済・生活環境創生交付金」へ名称が変更され、国の予算規模や支援の幅が拡大したところであり、今後においても、これまでの効果検証の結果等を踏まえ、交付金を有効に活用しながら、本市の地方創生の取り組みを深化させていくこととする。

7 公表までのスケジュール

10月14日 盛岡市総合計画審議会

11月下旬 市公式ホームページで公表